

平成18年5月16日

各 位

会 社 名 株式会社 梅 の 花
代 表 者 名 代表取締役社長 梅 野 重 俊
(コード番号 7604 東証第二部)
問 合 せ 先 専務取締役 本 多 裕 二
T E L 0942-38-3440

平成18年9月中間期及び通期業績予想の修正について

最近の業績動向等を踏まえ、平成17年11月25日に発表いたしました平成18年9月期（平成17年10月1日～平成18年9月30日）中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想

(1) 中間連結予想（平成17年10月1日～平成18年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前 回 予 想 (A) (平成17年11月25日発表)	9,750	306	△ 510
今 回 予 想 (B)	10,053	666	△ 572
増 減 (B-A)	303	359	△ 62
増 減 率	3.1 %	117.3 %	— %
前中間期実績 (平成17年9月中間期)	9,830	△ 84	△ 280

(2) 中間個別予想（平成17年10月1日～平成18年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前 回 予 想 (A) (平成17年11月25日発表)	3,233	99	64
今 回 予 想 (B)	3,303	147	53
増 減 (B-A)	69	47	△ 10
増 減 率	2.2 %	47.9 %	△ 16.5 %
前中間期実績 (平成17年9月中間期)	3,286	150	84

(3) 通期連結予想 (平成17年10月1日～平成18年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A) (平成17年11月25日発表)	19,200	415	△ 443
今回予想 (B)	19,533	828	△ 561
増減 (B-A)	333	413	△ 117
増減率	1.7 %	99.4 %	— %
前期実績 (平成17年9月期)	19,396	39	△ 554

参考：1株当たり予想当期純利益(通期) △21,309円22銭

(4) 通期個別予想 (平成17年10月1日～平成18年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A) (平成17年11月25日発表)	6,290	186	124
今回予想 (B)	6,345	259	88
増減 (B-A)	54	73	△ 35
増減率	0.9 %	39.3 %	△ 29.0 %
前期実績 (平成17年9月期)	6,381	299	△ 295

参考：1株当たり予想当期純利益(通期) 3,347円96銭

2. 修正理由

(1) 中間連結業績修正理由

- ① 売上高につきましては、既存店において、前年同期に対し1.7%減と予想しておりましたが、0.6%増で推移したことで計画比299百万円増、前期出店店舗は計画比8百万円減、今期新規店舗は計画比12百万円増となり、前回予想比303百万円(3.1%)増となる見込みであります。
- ② 経常利益につきましては、広告宣伝費の増加はあったものの、売上高の増加及び商品の内製化に伴う自社生産の拡大による売上総利益の増加、更に、生産性の向上による人件費コストの減少により、前回予想比359百万円(117.3%)増となる見込みであります。
- ③ 特別損失につきましては、主に9店舗の減損損失1,231百万円を見込んでおります。
- ④ 従いまして、中間連結業績の見通しは売上高10,053百万円、経常利益666百万円、中間純損失572百万円を予想しております。

(2) 中間個別業績修正理由

- ① 売上高につきましては、連結子会社の店舗売上高が増加したことにより、食材の供給及びロイヤリティ収入が増加し、前回予想比69百万円(2.2%)増となる見込みであります。
- ② 経常利益につきましては、売上高の増加及び、商品の内製化に伴う自社生産の拡大による売上総利益の増加により、前回予想比47百万円(47.9%)増となる見込みであります。
- ③ 特別損失につきましては、米国子法人への投資損失等、60百万円を見込んでおります。
- ④ 従いまして、中間個別業績の見通しは、売上高3,303百万円、経常利益147百万円、中間純利益53百万円を予想しております。

(3) 通期連結業績修正理由

- ① 売上高につきましては、既存店において、前年同期比1.6%減と予測し、期末にかけて2店舗の新規出店を計画し、前回予想比333百万円（1.7%）増を予測しております。
- ② 経常利益につきましては、新たに2店舗を出店することにより出店費用の増加が予想されますが、売上高の増加及び商品の内製化に伴う自社生産の拡大による売上総利益の増加、生産性の向上による人件費コストの減少を見込み、前回予想比413百万円（99.4%）増を予測しております。
- ③ 特別損失につきましては、1,323百万円を見込んでおります。主に9店舗の減損損失であります。
- ④ 従いまして、通期連結業績の見通しは、売上高19,533百万円、経常利益828百万円、当期純損失561百万円を予測しております。

(4) 通期個別業績修正理由

- ① 売上高につきましては、連結子会社の店舗売上高の増加に伴い、食材の供給及びロイヤリティ収入の増加を見込み、前回予想比54百万円（0.9%）増を予測しております。
- ② 経常利益につきましては、売上高の増加及び商品の内製化に伴う自社生産の拡大による売上総利益の増加を見込み、前回予想比73百万円（39.3%）増を予測しております。
- ③ 特別損失につきましては、米国子法人への投資損失等、85百万円を見込んでおります。
- ④ 従いまして、通期個別業績の見通しは、売上高6,345百万円、経常利益259百万円、当期純利益88百万円を予測しております。

以 上